

双相版

東北商工時報 原町支局長として入社 大越 春翠

御 摺 挨

我「東北商工時報社原町支局」を開設以來既に二年に達し多数同情者各位の御後援に依つて基礎漸く安固前途大に發展擴張、地方の商工業振興の目的に向つて邁進せんと居ります。

今回小生「東北商工時報社原町支局長」として入社致し親しく諸氏と相見ゆる機会を得るに至つたことは光榮と感謝に堪へない。

由來原町は相馬郡の中樞位置に在り繁榮都市であつて隨つて商業地として繁昌を誇るに足るものであつた事は既に周知の處である。

將來益々發展隆盛を來す可きは今より期待して誤りなき處であります。

茲に於て我「東北商工時報」の本來の使命に從つて原町の發展振興の爲めに滿福の努力を傾倒すべく聊か微力を盡さんとする覺悟であります。

現在原町を觀望すれば今日隆昌を來せるは實に先見明あり遠大の抱負を抱ける多數有力賢明なる先輩諸賢の努力奮闘に依るものにして將來大原町を建設し發展

達成すべく深厚なる御援助を賜はらん事を懇願して入社し望んで御挨拶申上げる次第であります。

料 亭

末 廣

平 田 町
電話四二二番

人格識見共に具備せる

大 甕 村 々 長

伏 見 清 身 氏

氏は太田の人、氏は縣立農藝學校の前身である農商學識の聲高く今後氏の明快なる力量と相俟つて前途益々更正の途上にある事を見逃さるものではない。

有し召集に應じ第二十九聯隊に入營したる直後、日露戦役に参加凱旋勳八等を賜り除隊後大甕村伏見家に入り婿し専心農事に奮勵努力し同村の中堅青年を以て自他共に信じる處となり、與望ありて同村助役に推選され當時青年助役として活躍し村長補佐役としての方量富川喜代治氏幹事は松永篤次郎氏、櫻村伊佐治氏、箱崎野氏の満期に際し舉村一致を以て村長に推され大甕村は驅に經濟更正指定村となし諸般の施設を終ひ着々實績を擧げつゝ、あり信用組合を組織し、原町登記所長、猪倉庫を原町驛前に建設したる事と現在の不況に際し小倉庫を原町米穀検査所長、の諸事と現任の奉給を且つて一睦を圖り一家團樂たる家庭の努力奮闘に依るものにして回の手腕力行に俟つ可きものさぬ處であり。

石城郡出身者によつて

石城郷友會生る

縣下に誇る
大甕村農業倉庫
利用價值甚大

相馬郡大甕村大甕農業倉庫は地方識者間の多年の宿望迫られ昨年九月之れが完成を見るに當り原町驛前に納入俵數三万俵縣下に誇る工事進行中であるが倉庫を併せて實に二百坪大倉庫を建設し内部には鑑定室の設備を有し生産米貯藏協同販賣移出米等前記工事が終了せば中郷倉庫に開放する用意有り今より其の運用を期待

診療科目

齒科 一般

口腔 外科

レントゲン科

中野齒科醫院

院長 中野 憲 次

醫學士 西川 誠

平町田町

電話五〇九番

貨切貨物
小川行乗合
キク子自動車部
菊地 盛
平一丁目・電六三二

特製カーバイド
粕ノ、キリン、煮干釜
佐藤 鐵工所
月 見 町
電話平三六二番

婦産科
醫學博士 五十嵐雄二
平町新川町二(大神宮南)
電話三七〇番

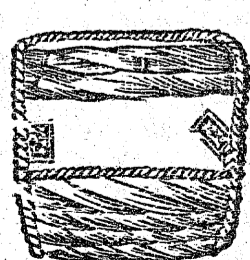
診察 入院隨時 (自炊の便あり)
診察 毎日 (夜九時)
往診 入院隨時 (自炊の便あり)

蓄膿症 根切薬 快鼻湯
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汗多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり
其他鼻骨彎曲症、並に中鼻炎に偉大な
る神効ありと賞賛されて居ります。

先づ一週間の服用を御進めします
弊城國平町一丁目
快鼻湯製造元 水野藥局
責任製劑者 藥劑師 水野 精一
電話六九九番

漁業、鯉節
肥料製造販賣
廻船問屋
鯉餌問屋
八島屋商店
立花 雄 七
福島縣小名濱港
電話 一〇二番

.....は酒銘
界世清
店本屋水清 元賣發
番六話電町濱名小
電話 (平町) 四二一五番
電話 (鮮魚部) 四〇七番



皇恩會洋服裁縫教習所
小松 洋服店
平町才地小路十二番地

理 髮 巴 里
矢 部 政 男
平町二丁目

一般外科 (整形外科)
内 科 花柳病科
會 田 醫 院
院長 會 田 亮
小名濱町上横町

草野醫院
小名濱町 電話一七三番

贈答品には是非御利用下さい
鯉 魚 節
日華生命保險株式會社代理店
穴 戸 屋 商 店
電話 (平町) 四二一五番
電話 (鮮魚部) 四〇七番